

3000 人の楽しい町

No.573

町報

こうふ

KOFU

2018

12月

#江府町産小麦の手作りパン

#エミーズカフェで Merry Christmas



動画で町報こうふ!

URL: <https://www.youtube.com/user/townkofu>



白銀の奥大山においてよ♪

奥大山スキー場リフト券割引情報のご案内

☑町民のみなさま限定

子ども（中学生まで） リフト一日券を5回まで無料
大人（高校生以上） リフト一日券を3回まで無料

☑15名以上の団体さま（※リフト券購入に限る）

リフト1日券及びレンタル料金 1割引（全員対象）

（例）リフト1日券 4,000円→3,600円

スキーセット 3,000円→2,700円

上記割引券等はエバーランド奥大山フロントでお受け取りください。

江府町スキー場開き祭

日時：平成30年12月15日（土）

午前10時30分～

場所：鏡ヶ成スキー場

午前中は神事、餅まきなどを行います。滑走可能な積雪があれば、午後より奥大山スキー場と鏡ヶ成スキー場のリフト無料運転を予定しています。是非お越しください。

■問い合わせ先 奥大山スキー場 電話77-2828



12月号の目次

（ページ）

3 特集「未来を切り拓く人材の育成」

8 学力調査結果

10 図書館だより

11 公民館講座のご紹介 / エリカ先生のKOFU DE ACADEMIA

12 日野川沿い銀杏並木LEDライトアップ / 奥大山古道ウォーク

13 江府町文化祭2018

14 まちの話題

新院展にて最優秀賞を受賞 / 江府町防火パレード / 第57回江府町卓球大会 など

17 白石町長コラム「不易流行」 / 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

18 地域おこし協力隊通信

19 農業委員会だより

20 まちのお知らせ

除雪作業にご理解とご協力を / 年末年始の開庁・休館・休業について / 人のうごき など

23 行事カレンダー

24 江府小学校学習発表会 / 今月のフェイス / COVER- 今月の表紙 -

—特集—

未来を切り拓く

人材の育成

日本一人口が少ない鳥取県のなかでも、一番人口の少ない江府町。そこに住む若者は自分たちの住む町をどのように見ているのでしょうか。江府町には「あれがない、これもない」と、様々な資源の制約があると感じていたりしないでしょうか。

こうした「ないもの探し」の思考から生徒たちが脱却し、資源の制約を乗り越え、未来をつくるアイデアを創り出すところが、地域の未来を切り拓くことにつながります。

そうした力をもった人材である「アントレプレナー※」が今、江府町そして全国の地方創生の現場において求められています。

9月25日・26日に開催された「アントレプレナーシップ・スクール」、11月6日に開催された「中学生議会」を通して、生徒たちが自ら未来をつくるアイデアを創造し、実現にむけて提案した活動を振り返ります。



▲9月25日・26日に開催された「アントレプレナーシップ・スクール」の様子

※「アントレプレナー」とは日本語では「起業家」と訳されることが多いですが、この事業においては、「資源や常識を超越してチャンスを追求める者」と定義しています。

「ないもの探し」はやめて、未来をつくるアイデアを創造しよう



▲「人間知恵の輪」で頭をリフレッシュする様子

これからの教育に求められるもの

変化の激しいこれからの社会を生きていくためには、その時々状況や踏まえつつ、考えたり、判断したりする力が一層重要になってきます。加えて入手した知識・情報を使ってより価値ある新しいものを生み出す創造性も強く求められるようになってきます。そのように考えるとき、子どもたちに必要となるのは、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力です。そして、その求められている資質や能力を育成する学習として、このたび実施したアントレプレナーシップ・スクールがあります。

アントレプレナーシップ・スクール

9月25、26日の2日間、江府中学校においてアントレプレナーシップ・スクールが実施されました。この学習は、東京を拠点に中学校・高等学校でアントレプレナーシップ教育を展開する一般社団法人「i. club」の指導により行われたものです。アントレプレナーシップ・スクールとは、江府

中学校の生徒が江府町を舞台に、「あれがない、これもない」という「ないもの探し」の思考から抜け出し、資源の制約を乗り越え、未来を創るアイデアを出すことに挑戦する学校のことです。

当日は、「i. club」の2人と若手の町職員3人の計5人がメンター（指導助言者）となり、「江府町のまち・ひと・しごとの未来をつくるアイデアを考えよう」のテーマの下、江府町の人口減少対策と、更なる活性化を目的に、まち・ひと・しごとの各分野の中から一つを選び、その分野における「未来をつくるアイデア」を2日間のワークショップ（体験型講座）で考えることに挑みました。

最初は、「アントレプレナーシップって何?」「自分にアイデアが生み出せるだろうか・・・」と不安だったり、戸惑ったりしていた生徒たちでしたが、学習が終わる頃には斬新なアイデアを多数出したり、堂々と発表したりしていました。

2日間にわたる今回の学習を通して、生徒たちは一回りも二回りもたくましくなっているように感じました。



▲山のように集まるアイデアの数々



▲アイデア飛び交うグループワーク



▲アイデアを出すための作法を学ぶ様子



▲アイデア発表会の様子



▲メンター（指導助言者）のみなさん

（写真左から）

小川 悠さん（一般社団法人i.club）
高藤さおりさん（一般社団法人i.club）
遠藤絵美主事（江府町役場総務課）
谷口宗一郎主任（江府町役場住民課）
仲田裕紀主任（江府町役場農林産業課）



▲スキット（寸劇）を演じる様子



▲提案に向けて最終チェック



▲メンターから指導や助言を受ける様子



アントレプレナーシップ・スクールの学習を終えて（生徒の感想）

□こんなに一生懸命江府町について考えたことがなかったので、とても良い経験だと思いました。

□改めて江府町の良さを発見できました。はじめは江府町が不便とか何もないと思っていたけど、良さがあつて、すごく驚きました。

□未来を創るためのアイデアを出し行動できるようにすることで、社会に出た時に絶対に役立つと思いました。

□初めはアイデアを出すのが嫌だったけど、アイデアを出すということはとても楽しいことだと思いました。

□あれもない、これもないと考えるのはもったいないなと感じました。そう思うよりも、アイデアを考え、出来ることはないか探していきたいです。



一般社団法人 i.club 小川 悠さん

生徒たちが証明してくれたこと

「助け合い、ともに挑戦する」。

それが、私が江府町の生徒たちと過ごす中で感じたことです。このプログラムでは、生徒たちはチームとなり、地域の未来をつくるアイデアを出すという、解のない問いに挑みました。それは決して簡単なことではなく、多くの生徒たちもはじめ戸惑いをみせていました。しかし、途中から変化が起きました。生徒同士が自ら考え、助け合いながら、未来をつくることに挑戦しはじめたのです。

私はこうしたお互いを助け合いながら、挑戦することこそが、これからの時代を生きていく上で大切な力になると考えています。そして、江府町の生徒たちは、しっかりその力をもっていることを、私たちの前で証明してくれました。



ふるさとを元気な町に 江府町中学生議会

今年で3年目を迎える中学生議会。これまでも江府中学校の3年生がふるさと学習のまとめとして、町づくりのアイデアを提案してきました。

今年は、9月にアントレプレナーシップ・スクールで作りに出したアイデアをスキット(寸劇)を交えて提案し、これまでとは一味違った議会となりました。

高齢化対策について



加藤 未紗 議員

【提案】

私たちは「インター Let's 江府」を提案します。

足腰が不自由な方、お車をお持ちでない方もインターネットで気軽に買い物ができ、簡単に使えるアプリで江府町の情報も見ることができるものにして、タブレットの貸し出し、無線LANの設置もしてはどうでしょうか。

【町長答弁】

いずれはそういう時代が来ると思う。ヴァーチャルリアリティを使って、実際に介護施設で行っている例もある。ただ、いっぺんに町の仕組み自体を変えることは、予算の制約もあるので、世の中の変化に徐々に合わせながら、住んでいる人の生活が向上できるように努めていく。若干時間がかかると思うが、そのあたりはご理解いただきたい。

空き家の活用と 移住者対策について



中尾 海斗 議員

【提案】

私たちは「空き家クリーン・リペア大作戦」を提案します。一軒の空き家を利用して、空き家の掃除や修理を専門とする会社を作り、町内の空き家を、持ち主と移住者の希望に合った家にするための掃除や修理をする会社です。

【町長答弁】

専門の会社の事務所自体がモデルハウスになっているという発想が素晴らしい。

江府町の空き家については、住めるように整備・管理をする仕事をしてもらえるところができれば活用はさらに進むと思う。今後、実現に向けて検討したい。

観光について



篠田 和希 議員

【提案】

私たちは「田植絵」を提案します。田んぼアートのデザインを公募し、観光客と地域の人と一緒に田んぼアートを完成させていきます。普通の田んぼアートや田植えとは違い、特別感と一体感が味わえると思います。

【町長答弁】

今までにないチャレンジなので、小さなところから始めてみるのがよいのではないかな。いろいろと研究・検討する必要があると思う。高校生になっても、一緒に先進地に出かけて行って研究したり話し合ったりする機会が持てるとよいと思うので、来年度予算化したい。

アントレプレナーシップ・スクール
@江府町2018を終えて



江府中学校
傘井 浩史 校長

今回の短期集中プログラムから中学生議会までの一連の取組において、確かな手ごたえを感じています。特に今年初めて実施した短



▲再質問に向け、メンターと“作戦会議”中の生徒達

期集中プログラムでは大きな成果がありました。ここでは班の仲間と協力して、「まち・ひと・しごと」をキーワードに町活性化のアイデア創りという正解のない課題に取り組みました。苦戦しながらも意見を出し合い、まとめ上げていく姿は頼もしく、この2日間のプログラムを終えた生徒たちの表情には「難しい挑戦をやり遂げることができた、やればできる」と

いう達成感や自信があふれていました。今回の取組を通して、生徒たちは未来を創るアイデアを出す手法を学び、自信や意欲を高めるとともに、江府町への愛着や地域の一員としての自覚も深めることができました。次年度もこの取組をさらに充実させ、地域の将来を担う人材を育成していきたいと思っています。



▲空き家紹介のピフォー・アフターを演じる生徒

特産品開発について



藤原 圭汰 議員

【提案】

私たちは、「奥大山天然かき氷～奥大山全部つめこみました～」というアイデアを提案します。このかき氷は奥大山の天然水で作った氷をかき氷にし、シロップをかけたり、フルーツをのせたりしてつくるスイーツで、インスタ映えをねらうアイデアです。

【町長答弁】

非常にユニークで、インスタ映えの話もされたが、それを写真に撮って発信をされ、それが全世界的に拡散されて、ますます江府町が有名になるのではないかなと思う。

氷を作っている会社も江府町内にある。そういった氷を使って、町内の事業所でぜひチャレンジしてみたいという方を募り、できれば来年の夏にでも実現したいと思う。その時には、提案者も入って一緒に形にしてみただけたらと思う。

人口減対策について



遠藤 郁海 議員

【提案】

私たちは「MIX オフィス in Life」を提案します。廃校になって現在は使われていない小学校の教室をオフィスやカフェにして、グラウンドに住む場所を作り、地域の人や移住者が集まり交流する場所にしたいと思います。

【町長答弁】

江府町をもっと活気づけたいという思いは私も同じで大賛成。ただ、現在の江府町の廃校舎はかなり年月が経っているので、難しい現状もある。

地元にもいくつかの企業があり、みなさんが大きくなって自分自身で起業するというのも大事。若い人達が意欲を持って働けるように PRをするとか、あるいは事業を起こしたいという人を応援するといったことを積極的に行っていきたい。

こゝろっ子のまなびとくらし

～平成30年度全国学力・学習状況調査から～



全国の小学校6年生、中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が4月に行われ、その結果が公表されました。

この調査は、子どもたちの学力状況を把握することを目的として、全国のすべての小・中学校を対象に文部科学省が毎年実施しているものです。江府町からも対象学年となる江府小学校6年生、江府中学校3年生が参加しました。

今年は、生活全般に関する質問紙による調査および国語、算数・数学、理科の3教科の調査が行われました。

ここでは、それらの調査結果から見えてきた江府町の子どもの学習や生活の状況についてお伝えします。

国語

●江府小学校

基礎的な内容については県や全国と比較してもよく理解しています。「主語と述語との関係などに注意して文を正しく書く」、「相手や場面に応じて適切に敬語を使う」ことについて高い正答率を示し、目的に応じた言語の使用や読み取りの力がついていると言えます。

一方で、活用場面においては、話合いにおける司会の役割を捉えたり、相手の意図を捉えながら聞いたりするなどの「話すこと・聞くこと」、目的や意図に応じて書いたり、他のものと比較して書いたりするなどの「書くこと」について課題が見られます。無答率もやや高めの傾向となっています。

身につけた知識や読み取ったことを生かして最後まで粘り強く取り組み力を伸ばしていきたいと思います。

●江府中学校

基礎的な内容については、文章を推敲し分かりやすく表現することにおいて高い正答率を示しています。しかし、文の成分や行書の書き方、古典の現代語訳などの知識の未定着も見られます。

活用場面においては、資料に関連づけて読み取ったり自分の考えを持ったたりするなど「読み取る」ことにおいて高い正答率を示しています。

一方で、話したり質問したり、質問の意図を捉えて聞き取ったりするなどの「話すこと・聞くこと」についての課題が見られます。相手を意識して話したり聞いたりする力の向上を目指します。

算数・数学

●江府小学校

基礎基本はおおむね定着し、数直線を用いたり角度を測ったりするなどの技能において高い正答率を示しています。しかし、小数の除法や円周率の意味など知識の部分に苦手が見られます。

活用場面においては、条件を読み取り整理して解答する問いで高い正答率を示しています。しかし、記述式の解答における無答率の高さが見られます。

必要な情報を関連づけて考え、条件に合わせて解答する力を伸ばしていきたいと思います。

●江府中学校

基礎的な内容については、計算の正答率が高く、また、立体図形の知識・理解も定着しています。その一方で、関数の意味の理解や変化を求める問いに対する正答率の低さが見られます。

活用場面においては、問題から必要な情報を読み取ることはできるものの、与えられた情報や条件をもとに考察することへの苦手が見られます。

無答率も高い傾向が見られ、粘り強く考える機会や学びを深めるための言語活動を日常の授業の中に取り入れていきたいと思います。



理科 (三年に一回実施)

●江府小学校

理科に関する言葉や概念を理解しており、基礎的な内容はおおむね定着しています。

活用場面においては、記述式の解答も高い正答率となっており、実験や観察の方法を構想したり自然の現象や物質の変化から考えを深めたりする力がついています。

今後も、自然体験や実験、観察を通して科学的な「目」を養う授業を行っていきます。

●江府中学校

光(物理)や気象(地学)に関する分野においては基礎的な内容を理解し、活用場面でも知識や技能を用いることができます。

しかし、燃焼や化学変化に関する化学分野の活用力を問う設問においては、実験方法を考えたり結果から考察したりするなど科学的に探究する面での苦手が見られます。

実験や観察を通して友達と関わり合いながら科学的に思考する授業の更なる充実を図っていきます。



質問紙調査

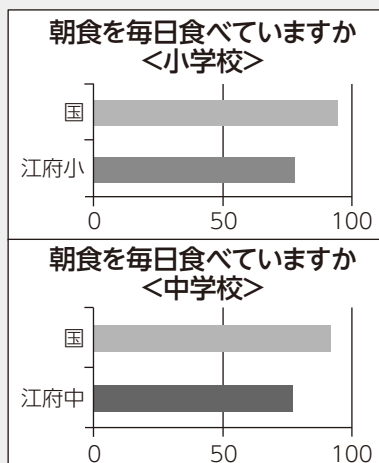


●基本的な生活習慣

起床・就寝については、ほぼすべての児童・生徒が「毎日同じくらいの時刻」に寝たり起きたりしていますが、中学生になると就寝時刻が遅くなりがちで、生徒も増えてくるようです。

併せて、今年度の調査ではこれまでほぼ100%であった「朝食を毎日食べる」の肯定的な回答率が大幅に下がり、生活習慣を改めて見直してみることが必要と感じられます。

小学校・中学校においては、PTAと連携しながら生活習慣向上の取組を進めているところです。各ご家庭でも、お子さんと話し合ってみていただけたらと思います。



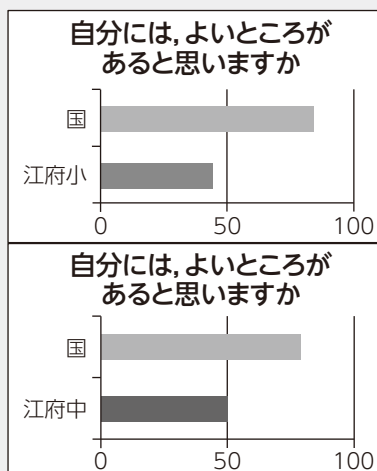
放課後や週末の過ごし方については、「家庭で勉強や読書」「家族と過ごす」等の割合が高く有意義な時間を過ごしていると同時に、テレビを見たりゲームやインターネットをしたりして過ごす割合も高めの傾向を示しています。

●他者との関わり



「学校のきまりを守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」という項目について肯定的な回答をする割合が高くなっています。規範意識や相手を大切に思う心が育っているのは、これまで同様、江府町の子どもの特長と言えます。

一方で、「自分には、良いところがあると思う」という項目において、県や全国と比較しても低めの傾向が見られます。



江府町の子ども達は、テレビやインターネットの「ニュースを見る」割合が高く、メディアと接することが「概に悪い」と言い切れるものではないようです。

学力との関係がいろいろなところで話題となる「メディアとの接し方」ですが、今後ますます情報化が進む世の中においては、上手なつき合い方を身につけていくことが重要になってきます。

●地域・社会への関心

小学校においては、「地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会がある」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる」と、多くの児童が地域を身近に感じています。

一方、中学校では、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」割合が、県・全国と比較して低めの傾向が見られます。

これからの江府町を担う若者達が、江府町と関わりを持ちながらふるさとのことを考えていけるような機会を増やしていきたいと思っています。

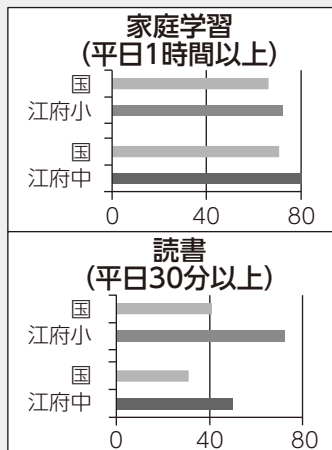
これまで少しずつ改善傾向が見られていた項目ですが、今回の結果を受け、改めて子ども達への接し方を見直し、子ども達が認められ、自信の持てる場や環境を整えていきたいと思っています。



●家庭学習・読書習慣

学校の授業時間以外の平日の学習時間について、「1時間以上学習している」と回答した割合が高く、特に中学校では県・全国と比較しても10ポイント以上高くなっています。家庭学習については、各ご家庭と学校とが連携した取組を継続しているところですが、そうした成果が表れていると言えます。

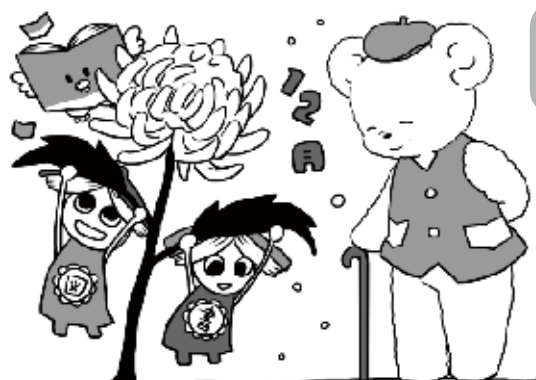
また、平日の読書時間についても、小・中学校ともに県・全国より高い割合を示し、休憩時間や家庭での読書の習慣が定着しつつあると言えます。



学年による差異もあるため、本調査の結果がすべての学年あるいは児童生徒にあてはまるものではありません。しかし、全国と比較して見えてきた課題については真摯に受け止め、課題を克服し、さらに伸ばしていけるよう、各学校における指導の改善に活かしていきたいと思っています。また、伸びてきている部分については、今後も継続して高まっていけるよう取組を進めていきます。

ご家庭においては、生活習慣を整えることを今後も継続していただくとともに、家庭学習やメディアとの接し方等について親子で話し合っていたとき、よりよい生活や学習につながるルール・習慣づくりをさらに一歩進めていただきますようお願いいたします。





図書館だより

江府町立図書館（江府町防災・情報センター内）

開館時間：月～金 午前8時30分～午後7時

土日祝 午前8時45分～午後5時30分

お問い合わせ：75-2005（江府町教育委員会事務局・共通）

※図書館での行事については、巻末カレンダーもご参照ください。



▲夜の図書館の中は、ぬいぐるみたちの図書館に！

町報10月号でお知らせした「ぬいぐるみおとまり会」。3回目となる今年、もっともたくさんさんのぬいぐるみが参加しました。



▲仲良しのぬいぐるみをおひざに乗せてのおはなし会

◎年に一度の「ぬいぐるみおとまり会」を開催しました



▲研修会のような様子

昨年12月から、人がつながる図書館づくりを目的として活動している民間団体「江府町図書館友の会」。11月21日に、西ノ島コミュニティ図書館「いかあ屋」から講師を招き、小さな町の図書館としての活動実例を知る研修会を開催しました。

「いかあ屋」のコンセプトは「みんなの家」。玄関で靴を脱いで上が

◎江府町図書館友の会が、活動の場を広げています

人には、おとまり中の写真でアルバムを作ってもらいました。



▲翌日、おとまりアルバムを作りました

図書館が開まったあと、おとまり中のぬいぐるみたちが図書館の中を探検している様子など、一部をお見せします。翌日おむかえにきた

ることや、こたつを置いた部屋があること、静かに本を読むための区切られた部屋があることなど、町民みんなの憩いの場となるように様々な工夫をされています。

西ノ島町は江府町と長年の交流がある町であり、人口の近い町でもあります。身近な町に作られた新しい図書館の姿を学ぶことで、これからの江府町立図書館の展望も広がる会となりました。

※江府町図書館友の会について、詳しくは図書館へお尋ねください。

◎閉館時間の変更と、年末年始の休館について

年末年始に伴い、以下のように閉館時間を変更し、休館とさせていただきます。例年とは休館日の日程が違いますのでご注意ください。

「閉館時間の変更」

12月28日（金） 17時閉館

「休館日」

12月29日（土）～1月6日（日）

◎次回予告！

江府町内の小学生・中学生を対象に募集した「図書館キャラクター2期生」の受賞作品を、来月の町報で発表します。たくさんの方の応募、ありがとうございました！

公民館講座のご紹介

今回は年間講座のパッチワーク教室をご紹介します。現在6名の方が受講され、年数の長い方や、1年目の方もおられます。先生の丁寧な指導や先輩のアドバイスを受けるながら一針一針縫い進めていきますので、初めての方でも安心して受講出来ます。11月からは椿やクリスマスのステンドグラステープストリーの制作に取り組んでいます。ご興味のある方は一緒に受講されてみませんか？詳しくは江府町教育委員会事務局（TEL 75-20005）までお問い合わせください。

日時：第2・4火曜日
13:00～15:00
場所：防災・情報センター
費用：材料代は実費です



▲パッチワーク教室の様子

エリカ先生の KOFU DE ACADEMIA 4

エリカ先生の動画は
こちらから



Growing up, I always looked forward to Thanksgiving. It wasn't just because we had a long weekend, or because we were able to eat a table full of delicious home cooked foods; it was because I looked forward to

going to see my family in Michigan. I lived in Missouri where only some of my family reside. Only twice a year I was able to see my other family, a ten hour drive up north. I suppose you could say I was most thankful for being able to spend time with them during the Thanksgiving holiday. It was a time we were guaranteed to see a ton of snow. It was a time I could play with the horses. It was a time I could see some of the family that mean the most to me. It's probably one thing I'll miss the most this year. So instead I'll be spending it with some of the friends I've made in Japan so far. Holiday's this year will be quite different.

So what is it you're thankful for?

小さいころから、私はサンクスギビング（感謝祭）がいつも楽しみでした。それは、お休みがあるからでも、テーブルいっぱいになった手作りのごちそうが食べられるからでもありません。ミシガン州にいる家族に会えるのが楽しみだったからです。

私は家族の何人かだけが住んでいたミズーリ州に住んでいました。年に2回だけは、車で北に10時間のところにいる他の家族に会えました。私はサンクスギビングのお休みに、普段は会えない家族と一緒に過ごせることに感謝していたのだと思います。

そのときはたくさんの雪を必ず見る事ができました。そして馬と遊ぶこともできました。そして私にとっての一番の理由は家族に会うことでした。それはおそらく、私が離れて暮らす家族を1年中恋しく思っているからだと思います。

だからその代わりに、日本でできた友だちとサンクスギビングを過ごそうと思います。今年の祭日はいつもと全く違ったものになります。

さあ、あなたは何に感謝しますか。

昨年度の中学生議会提案により実現!!

日野川沿い銀杏並木LEDライトアップ

11月2日～11日



▲夜の銀杏並木の様子



▲昼の銀杏並木の様子

11月2日～11日にかけて日野川沿い銀杏並木がLEDライトアップ。期間中は屋台出店、野外ライブ、写真撮影会も開催され多くの人で賑わいました。

過ぎ去りし秋の奥大山江府町 そこはまるで桃源郷でした

▼奥大山古道保存協議会
佐々木会長によるガイド

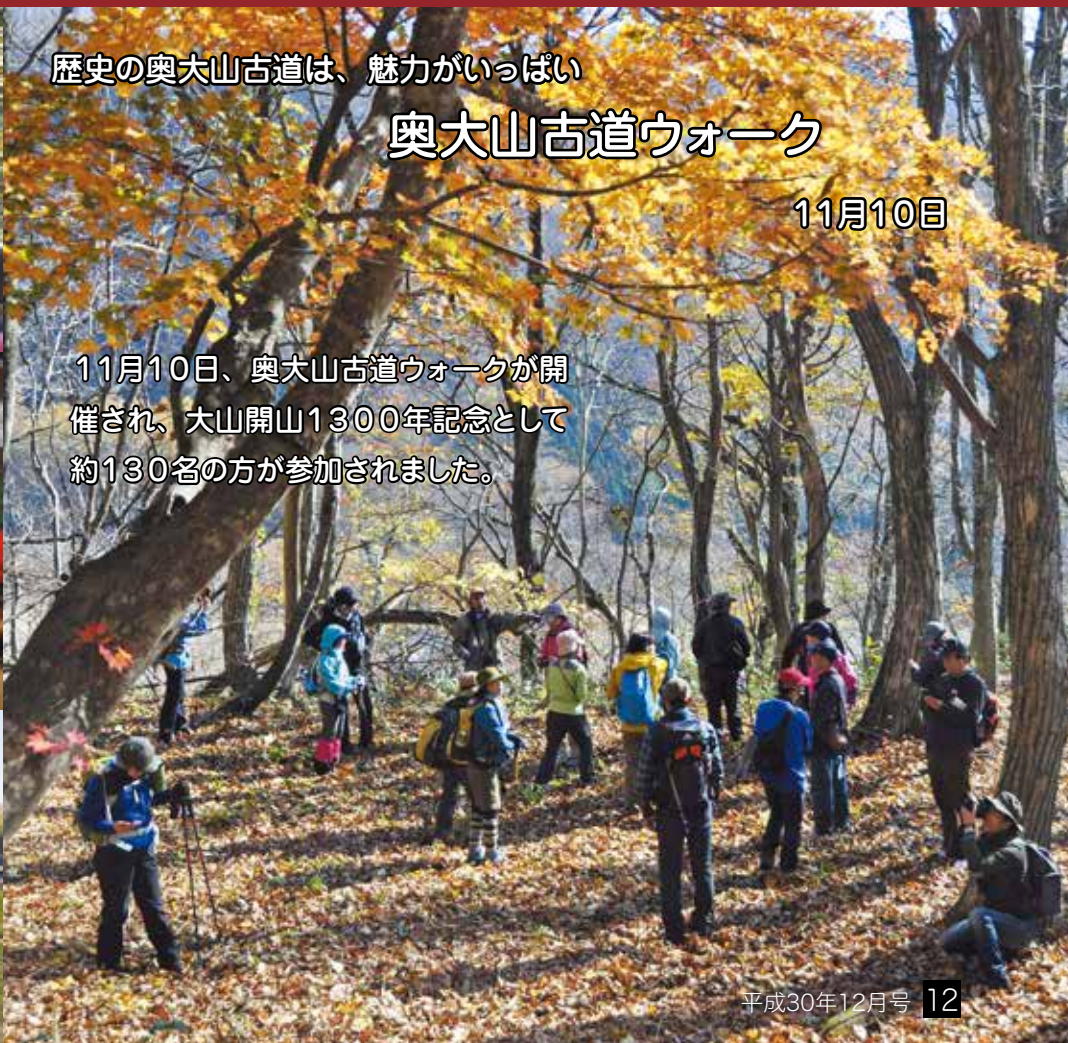


歴史の奥大山古道は、魅力がいっぱい

奥大山古道ウォーク

11月10日

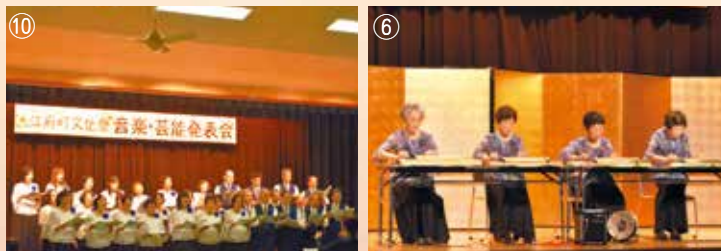
11月10日、奥大山古道ウォークが開催され、大山開山1300年記念として約130名の方が参加されました。



▼迫力の下蚊屋荒神神楽



▲御機の茅葺小屋を鑑賞



江府町文化祭2018

10月27日～11月4日まで開催された江府町文化祭を写真で振り返ります。(スペースの都合上、一部のみのご紹介となりますがご了承ください)

11月3日
舞台発表・販売出店



①ピアノレッスン教室 ②男女共同参画審議会 ③④樫鳥会・我楽会 ⑤リズムトレイン江府 ⑥大正琴江府教室
⑦あやめ会 ⑧M&P ⑨フラダンス教室 ⑩アイリス合唱団 ⑪木工同好会 ⑫江府町青年団

10月27日～11月4日
作品展示



⑬二階廊下展示 ⑭生け花 ⑮書道
⑯陶芸 ⑰絵手紙 ⑱手芸
⑲パッチワーク ⑳写真

新院展にて最優秀賞を受賞

11/1～30

第50回記念国際公募新院展にて宮本喜代子さん（下安井）の作品が最優秀賞を受賞し、江尾郵便局で作品展が開催されました。受賞作品は、かつて宮本さんの近所のお宅で牛が飼われていた際、牛の親子が別れる場面を描いた作品。当時、宮本さんは「現場で仕上げないと伝わらない」という思いで、夢中になって2時間で完成させたとのこと。宮本さんは「自分の気持ちは作品に出るので大切だと思います」と述べられました。



▲宮本さんと受賞作品・表彰状

11/9

“横のつながり”を結んでいきたい

～第4回ネットワーク江府～



▲各団体による情報交換の様子

NPO法人こうふのたより主催による「第4回ネットワーク江府」が社会福祉法人尚仁福祉会「江美の郷」にて開催されました。「ネットワーク江府」とは、現在町内で活動している50近くもの住民団体のネットワークを結び、お互いに協力し合い課題を解決することを目的に設立され、今年7月から連絡会を毎月開催しています。

この日は期間限定で時間外に「エミーズカフェ」もオープンし、活発な情報交換が行われました。

廃校以来初のグラウンドでの集落対抗戦

～第1回 夢labo明倫の丘グラウンドゴルフ大会～

11/11

明倫地区有志による任意団体「夢labo明倫の丘」（三輪英男会長）主催による「第1回 夢labo明倫の丘グラウンドゴルフ大会」が旧明倫小学校グラウンドで開催されました。結果は以下の通りです。（敬称略）

<団体戦>

優勝 下安井 準優勝 洲河崎 第3位 新道

<個人戦>

優勝 三輪英男 準優勝 門村勝美 第3位 加藤安津子



▲団体戦は各集落6名で構成しプレー

11/11

丁寧な掃除と入念なチェックで事故防止



▲カーブミラーを掃除する様子

江府町交通安全指導員の皆さんが、カーブミラーの清掃活動を行いました。この活動は、毎年、清掃とあわせて道路標識等の不備や破損のチェックも行っています。今年は俣野地区のカーブミラー21基が丁寧に清掃され、非常に見えやすくなりました。

交通安全に係るお気づきの点があれば、江府町役場総務課（☎75-2211）までご連絡願います。

11/14

いきいきとした江府町であり続けてほしい

～サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場から寄附～



▲目録を手渡す吉岡淳工場長（写真左）

「江府町いきいき基金」寄附金の贈呈式が開催され、サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場の吉岡淳工場長から白石町長に目録が手渡されました。この基金は江府町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として、次世代を担う人材育成、文化・芸術活動、産業振興に関して支援を行うことを目的に設立されたものです。江府町は今後もこの基金を活用しながら、いきいきと施策を進めていきます。

わっしょい！道の駅奥大山2週連続祭り

11/4・11

11月4日に「奥大山新米祭り」、11月11日に「奥大山新そば祭り」が道の駅奥大山にて開催されました。「奥大山新米祭り」では大飯食い選手権（子供の部・大人の部）が行われ、制限時間内（3分間）で新米を食べ競いました。大人の部で優勝したのは山本友博さん（岡山県）。山本さんは770gを食され、「おいしかったです。まだまだ余裕ですよ」と述べられました。

「奥大山新そば祭り」では奥大山産新そば試食販売会が行われ、新そばの良い香りが会場を包み込みました。

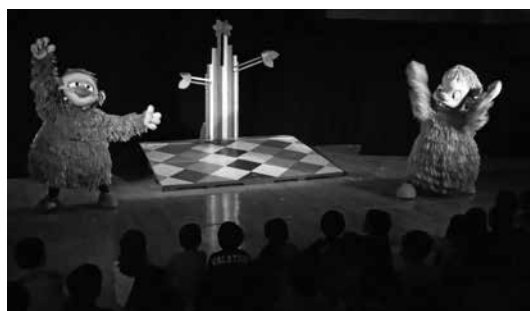


▲大飯食い選手権（大人の部）の様子

11/13

魅力的な人形劇の世界を園児へ

～子供の国保育園～



▲人形劇の様子

人形劇団「プーク」による人形劇が子供の国保育園で公演されました。「プーク」は日本全国をまわられ、このたび子供の国保育園へ来訪。公演されたのは「1ぱつ9のごうけつハンス」と「しちめんちょうおばさんのこどもたち」の2作品。「1ぱつ9のごうけつハンス」で3人の大男が登場すると、園児は驚きの表情。目を輝かせて魅力的な人形劇の世界を楽しんでいました。

出るとき寝るとき火の用心！

～江府町防火パレード～

11/15

江尾地内で江府町防火パレードが行われ、子供の国保育園の年長児が参加しました。防火パレードの前には、子供の国保育園にて避難訓練を実施。江府消防署署員による職員を対象とした消火器取扱訓練や江府町消防団第3分団による園児向けの防火紙芝居なども行いました。

防火パレードでは拍子木を打ち鳴らしながら、火災予防の呼びかけを行いました。



▲防火パレードの様子

越峠嘉道さん(奥大山プレミアム特別栽培米研究会)が2回目の入賞!

11/26・27

岐阜県高山市で第20回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会が開催され、越峠嘉道さん(奥大山プレミアム特別栽培米研究会)が環境王国(環境王国の認定を受けている全国で15の自治体が対象)部門で特別優秀賞を受賞されました。

今年は過去最高の5,717点の出品があり、本町も奥大山プレミアム特別栽培米研究会がコシヒカリときぬむすめあわせて24点を出品しました。

審査方法は、一次審査で機械測定により食味値と整粒値を測り、食味値85ポイント以上かつ整粒値75ポイント以上のお米が二次審査に進みます。二次審査では味度値を機械測定し、食味値と味度値の合計点の上位から国際総合部門とそれに続く各部門賞の最終審査ノミネートが決まります。

最終審査は、食味鑑定士の食べ比べによる投票で行われ、金賞とそれに続く特別優秀賞が決まりますが、「環境王国部門」には5点がノミネートされ、越峠さんのお米(食味値87、味度値88.5、合計175.5【整粒値84.7】)は特別優秀賞となりました。

越峠さんは平成26年にも同部門で金賞受賞をされており、今回で2回目の入賞となりますが「気象条件が厳しく管理が難しい年だった。来年はさらに上を目指して頑張りたい。」と語っておられました。

来年の第21回大会は千葉県木更津市で開催予定です。



▲賞状を授与される越峠さん(写真右)



▲奥大山プレミアム特別栽培米研究会のみなさん

奥大山プレミアム特別栽培米研究会出品米の成績

出品点数 24点(うち9点が二次審査進出)

食味値(一次審査) 最高 87 最低 81 平均 83.7

味度値(二次審査) 最高 88.5 最低 79.5 平均 82.5

11/11

手に汗握るプレーの連続 ～第57回江府町卓球大会～



▲各種目で熱戦が展開

町運動公園総合体育館にて第57回江府町卓球大会が開催され、早朝より多くの選手が集まり熱戦を展開しました。結果は以下の通りです。

(敬称略)

<個人戦>

【小学生の部】

優勝 澤田望乃香 準優勝 澤田花菜乃 第3位 林龍輝

【シングルスフリー】

優勝 下原佑太 準優勝 小椋格 第3位 濱崎歩、下村純也

【男子成年の部】

優勝 野口信也 準優勝 福田学 第3位 佐々木学、加藤秀一

【女子の部】

優勝 中村由美 準優勝 福田智恵 第3位 安部亜矢子

【ダブルスの部】

優勝 佐々木・濱崎ペア 準優勝 永井・清水ペア 第3位 加藤・岡田ペア、石田・米岡ペア

【団体戦】

優勝 小倉あんこ'S 準優勝 このゆびとまれ 第3位 (株)鳥取西部JAサービス、TEAM52

「不易流行」

「よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する」

夢を描き実現できる

たくましい人材を育成

11月に開催された中学生議会は、昨年よりもさらに進化を遂げました。それは、地域資源を見つめ直すとともに、夢を描き実現できるたくましい人材を育成しようと、本年度から導入したアントレプレナーシップスクールの成果だと思っています。江府中学校の三年生は、5つのチームに分かれ、一般社団法人「i.club(アイクラブ)」や役場の若手職員と一緒に二日間みっちり、アイデアを作り出す作法を学びました。そして、自ら考え、仲間と一緒に江府町を活性化させるための提案を練り上げ、中学生議会で発表しました。テーマは、「田植絵(たうえ)」、「空き家クリーン・リペア大作戦」、「インターLet's江府」、「MIX オフイス in Life」、「奥大山天然かき氷」奥大山全部つめこみました」と、いずれもワクワクするネ



▲中学生議会の様子

ーミングです。議場では質問と併せて、アイデアがある世界と、そうでない世界を表現した寸劇(「スキット」)も見せてくれました。どの提案も斬新で、かつ、問題の核心をついていると思います。現実的な話になると、解決しなければならぬ点もありますが、生徒たちの意気込みを大切にしたいと思いました。

昨年度の中学生議会で提案された「銀杏並木のライトアップ」のように、生徒たちが町のことを思いつて真剣に考えてくれたアイデアが、一つでも実現できるよう、提案してくれた生徒や、職員、関係者、そして、町のみなさんと一緒に頑張っていきたいと思っています。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

今年度のプロジェクトチームは「自然に支え合える江府町」を目指して、専門職だけでなく、となり近所からボランティアの方々など、みんなで支え、支えられるお互いさまのまちづくりに取り組んでいます。

そのアドバイスをいただいているのが、公益財団法人さわやか福祉財団の高橋望さん。地域での支え合い・助け合いのしくみづくりのために、各地でその地域に合った取り組みを広げていくための活動を展開されており、江府町でも、7月28日の「支え合いのまちづくり講演会」をスタートに、11月26日には第二回のワークショップを行いました。

今回は、第一回にゲームを通して学んだ「支え合いとはどういうものか」を振り返りながら、①「住んでいる人の生の声をしっかりと把握するためにどんなことをしたらよいか」②「地域で活動を創り出していくためには、どのような人の協力があつたらよいか」この二つについて、まずは個人で考え、グループで話し合いました。①については、「集まりの中に出かける」「一世帯ずつ訪問する」「民生委員さんや健康推進委員さんに聞く」「アンケートを取

る」など、②については、具体的に名前を挙げて「見守りになくてはならない人」「技術を持っている人」また、「グループをつなげるネットワーク」などの意見が出ました。

毎回、違うメンバーで構成されます。話をしたことのない人同士が目の前の課題に向かつて思いを出し、共感し合う。考えていることは一人一人違っても、こういった話し合いや集まりをとおして「つながり」が生まれます。何かをやるうとした時、それをすぐに形にすることは難しいかもしれません。しかし、人と人、人と資源がつながっていくことで『誰でもが、住みなれた地域で、笑顔で暮らし続ける』が実現するのではないのでしょうか。

ワークショップという『語り場』から、仲間とつながる、自分の好きなことができる、自分の能力を発揮し、認めてもらえる、「ありがとう」を言ってもらえる、そんな、小さいけれどたくさんの喜びが生まれることを願って、みんなでその喜びを増やせる江府町にしていきたいと思います！

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

江府町の地域おこし協力隊の活動日記 vol.6

「2018年の大ニュース」



#kasara
#手作り
#窯焼き

古い小屋の土壁を解体して、その土でピザ釜を作ったのが去年の秋頃。その釜で今年はパンやピザをいっぱい焼いています。熱々の釜で焼くピザやパンはとても香ばしく、おいしく焼き上がります。ピザを焼くのに最低400℃は要ります。釜の中を覗こうと、顔を近づけ過ぎると前髪と眉毛が焼けたります。この温度でピザを焼くと、たった3分しかかからないのにしっかりと焼けます。生地の上には、とろけるチーズと旨みのあるトマトソースに、季節の野菜がトッピングされている。一度力サラファームにお越しになってピザを食べてみませんか？（菜畑）

今年は何年といってもモノづくりの年でした！
竹とクロモジを中心に、江府町の特産品となるようなモノづくりの実験を繰り返しました。
そんな中で、私にとって今年一番印象に残っている出来事は、4月の初め頃に九州より講師の方をお招きしてメンマ作りの講演をして頂き、その後柿原集落の方達と一緒に作ってみたことです。何もかも初めての事で勝手の分からない私に、炭組合の有志の方々はじめ、集落のみなさんには大変良



#クロモジ
#竹
#柿原

くして頂き、ご参加頂いたみなさんと楽しく竹を切ったり茹でたりした事はとても良い経験となりました。
今回は製品化というまでには至りませんでしたが、何か少しずつでも細く長く続けていけるようなモノづくりを、みなさんと一緒にこれからもやっていきたいな、と思っています。また、私が江府町に来て大好きになったクロモジをどのようにして商品にしているかなど、今後みなさんにもお伝えしていけたら嬉しいです。
（右崎）



#宮市
#photo
#日常

今年は集落内での計報も多く、また事故もあつたりと、何気ない日常で忘れがちな「当たり前の毎日」を意識する機会の多い一年になりました。雪が降るまでにやってみたい仕事もまだまだ残っているので気を引き締めてまいります。健康第一、安全第一ですね。
日々の農作業、当たり前にこなしている業務の数々、思考停止せずに改善や改革をして、より良く快適に日々過ごせるよう考え続けたいと思います。
（松本）

私が思うこと



農地利用最適化推進委員
上前梅夫さん
(江尾本五)

私が農業委員になったきっかけは、農業共済組合の理事をしていたことからでした。以前の農業委員には組織代表の枠があり、その一つに共済組合枠があったためです。

その後、農業委員会制度が大きく見直され、昨年の7月からは農地利用最適化推進委員を務めさせていただいています。

私が従前に思っていた農業委員会は、農業や農地など様々なことについて議論または審議を行い、実践につなぐ場だと思っていました。

しなしながら、実際には農地の貸借や転用等の話し合いが主になっており「このような状況で良いのだろうか？」と考えているようです。

農地を守り次の世代に引き継ぐことはとても大事なことです。が、もう一歩踏み込んで、その農地をいかに活用していくのか、どういう仕組みで取り組んでいくのかなど、将来の展望を何とか見出ししていかなければいけないと思っています。

現実を見た時、高齢者は水田農業を続けていくのは大変で、作業を人や農業公社等に頼めば赤字が増えるばかり。「それなら止めたほうが良い。」そんな人だんだん増えてくるのが懸念されます。

集落営農等に取り組めるところは良いですが、それができない集落はどうするか？「よっしゃ、私がやってやる！」という人を早く作らねば大変なことになるわけですが、現実的には、みなさんもご承知のとおりです。

江府町の現状に合った具体的施策と、その実践を急がなければなりません。私も、微力ながら活動に頑張っていきたいと思っていますのでよろしく願います。

第35回日野郡農業委員会 研修交流会開催

11月14日、江府町山村開発センターにおいて第35回日野郡農業委員会研修交流会を開催。三町の農業委員、農地利用最適化推進委員及び関係機関より50名が参加されました。

この取り組みは、三町それぞれの日頃の取組について事例発表を行うことで情報の共有を図り、農業委員会活動のレベルアップと委員相互の交流を深めることを目的としています。



▲農地保全と地域産業の活性化を目的にジビエ（野生鳥獣の食肉）活用取組を発表する
宇田川 保推進委員

農業委員会総会のご報告

<11月9日(金)開催分>

以下、審議案件すべて承認されました。

農用地利用集積計画（案）	3件
農地法第3条の規定による許可申請	2件
農地法第5条の規定による許可申請	1件

12月の農地相談会について

農地の売買、相続、転用に関する事など、お気軽にご相談下さい。

◎ 相談日 12月20日(木)

午後1時30分～午後3時30分まで

◎ 場 所 山村開発センター

問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎(75)6620

除雪の季節がやってきます！ 除雪作業にご理解とご協力を

今年も雪の季節が近づいてきました。

町では、積雪量がおおむね15cm以上観測されたときに除雪車が出動します。みなさんの快適な暮らしを守るため、きめ細かな除雪に努めますが、スムーズな除雪作業を行うためには町民のみなさんのご理解とご協力が必要です。一人一人が生活や交通のルールとマナーを守り、安全な冬をすごしましょう。



除雪車に近づかないで！

作業中の除雪車に近づくことは大変危険です。運転席から見えないこともあります。絶対に近づかないでください。



路上付近の駐車は止めて！

路上や歩道に車両が駐車されていると除雪作業ができません。救急車など緊急車両の通行の妨げにもなりますので、路上付近の駐車は絶対にしないでください。



残雪処理にご協力を！

除雪作業後、“雪の壁”が残ります。玄関先や車庫前の除雪は各家庭でお願いします。また、消防設備（防火水槽等）やごみ集積場の周りも集落の皆さんで除雪をお願いします。



路面状況に応じた運転を！

気象や路面状況に応じた安全運転を心がけてください。特に日陰やカーブ、橋の上、下り坂などは注意し、時間に余裕をもって運転しましょう。



■歩行型除雪機は、正しく安全に使いましょう■

近年、自宅周辺等の除雪に歩行型除雪機を利用する人が増えています。機械を使うときには、使用者の責任において、正しく安全に作業しましょう。

- 作業を行う前に取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- 雪詰まりを取り除くときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って作業しましょう。
- 発進するときは、転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物に十分注意しましょう。
- 作業中は、雪を飛ばす方向に人や車がないことを確認し、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

除雪業務関係者のみなさんは、いつ降るかもしれない雪に備え、昼夜関係なく過酷な業務に就いています。町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

＜お問い合わせ＞

■除雪（県道を含む）、水道に関すること・・・江府町役場建設課（電話75-3306）

■雪害への備えや相談などに関すること・・・江府町役場総務課（電話75-2211）

パイロットマンから凍結防止のお願い！

気温がマイナス4度以下になると凍結しやすくなり、水道管の凍結や破裂により水道が使用できなくなることがあります。凍結防止として、水道管に保温対策を実施しましょう。



【保温対策例】

屋外でむき出しになっている水道管や蛇口にタオル・布きれ・毛布などを巻きつけ、ビニール袋を被せ、ビニールテープ等で巻きつけてください。

【もし水道管が凍結したら】

- ・気温の上昇により自然に溶けるのを待つ
 - ・凍った部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりと“ぬるま湯”をかけて溶かす
- ※熱湯をかけると管が破裂することがありますので絶対に熱湯をかけないでください。

【水道についてのお問い合わせ】江府町役場建設課 電話75-3306

気をつけよう くらしの注意情報

「アンケートにご協力を」と電話が！不審電話に注意

～個人情報を得ようと振り込め詐欺の電話が入っています～

アドバイス

**大手企業、行政機関を名乗る電話には、
即答せず一度電話を切りましょう！**

テレビ局、新聞社などの企業をかたったり、県、市町村役場の職員をかたっての電話が入っているとの相談が増加しています。年末年始は、振り込め詐欺などの不審な電話が増加し、注意が必要です。アンケートと言われても個人情報を伝える前に、まず連絡先をメモに取り、一度電話を切りましょう。電話帳やホームページで公表されている電話番号に問い合わせて確認することが大切です。不審な電話があった場合、警察への相談、情報提供もお願いします。

自宅に、テレビ局を名乗る男性から電話が入り、「アンケートを行っています。家族構成など簡単なアンケートですのでご協力をお願いします」と言われたので、協力した方がいいと思い家族構成や取引銀行などつい答えてしまいました。

すると3日後、今度は行政機関を名乗る男性から電話が入りました。なぜうちに次々と電話が入るのか不審に感じすぐに電話を切りましたが、今後が不安です。



○消費生活相談員による相談窓口

12月26日(水)、1月9日(水)、1月30日(水) 午前9時～午後4時
役場本庁舎1階会議室にて開催(役場正面向かって右側の入り口からお入りください)

○通常の相談窓口

平日：江府町役場 住民課
電話(75-3223)

土日：鳥取県消費生活センター
電話(0859-34-2648) ※祝日、年末年始除く

まずはお気軽に
ご相談ください



鳥獣被害は災害のように捉えられがちですが、少し見方を変えら

ました。
「人のほうが柵の中で暮らしているようなものだ」、鳥獣被害対策の中で私がよく聞く話ですが、皆さんもどこかで言ったり、聞いたことありませんか？
また、「都会は物騒だから、オートロック付きの家に住んだほうがいい」という話はどうでしょう？
実はこのオートロック付きの家は、まさに柵の中で暮らすようなものです。私の実家は大阪の一軒家ですが、車で5分のコンビニに行くのにも、玄関の鍵を閉めて、ガレージを開けて、車を出して、ガレージを閉めて、出発。戻ればガレージを開けて…(出発時の逆の手順の為、以下省略します)と、とても面倒です。でも防犯のために、鍵付きの扉や塀の中で暮らしていました。

獣害対策 最前線 第9回

「防犯対策」 みたいなもの

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也
【問い合わせ】0859-72-1399

「人は、人のほうが柵の中で暮らしているようなものだ」、鳥獣被害対策の中で私がよく聞く話ですが、皆さんもどこかで言ったり、聞いたことありませんか？
また、「都会は物騒だから、オートロック付きの家に住んだほうがいい」という話はどうでしょう？
実はこのオートロック付きの家は、まさに柵の中で暮らすようなものです。私の実家は大阪の一軒家ですが、車で5分のコンビニに行くのにも、玄関の鍵を閉めて、ガレージを開けて、車を出して、ガレージを閉めて、出発。戻ればガレージを開けて…(出発時の逆の手順の為、以下省略します)と、とても面倒です。でも防犯のために、鍵付きの扉や塀の中で暮らしていました。

あ、オイシイ
ものだ！



緊急防除支援事業(県事業)のお知らせについて

今年9月の豪雨の影響による園芸品目への緊急防除に対して、以下の内容で助成を行います。
対象となる方は、12月28日(金)までに役場農林産業課(75-6610)にご連絡ください。
JAの生産部会で出荷されるものについては、JAで取りまとめられているため連絡は不要です。

対象品目(販売用)	対象経費	散布対象期間	散布回数	補助上限額
白ネギ、スイカ、 アスパラガス、ブロッコリー	農薬代 (殺菌剤、液肥)	平成30年10月1日(月) から10月15日(月)	1回分まで 対象	1,500円/ 10a

年末年始の閉庁・休館・休業について

施設名等	12月28日(金)	12月29日(土)	12月30日(日)	12月31日(月)	1月1日(火)	1月2日(水)	1月3日(木)	1月4日(金)	1月5日(土)	1月6日(日)	1月7日(月)
江府町役場		閉庁 ←								→ 閉庁	
江府町総合健康福祉センター		閉庁 ←								→ 閉庁	
江府町教育委員会		閉庁 ←								→ 閉庁	
子供の国保育園			休園 ←					→ 休園		休園	
江府町防災・情報センター		休館 ←								→ 休館	
江尾診療所	午前まで	休業 ←								→ 休業	
江府町立図書館	17:00まで	休館 ←								→ 休館	
江府町運動公園		閉庁 ←						→ 閉庁			
江府町社会福祉協議会		閉庁 ←								→ 閉庁	
ごみ処理施設クリーンセンターくぬぎの森		休業 ←								→ 休業	
リサイクルプラザ		休業 ←					→ 休業				
くみ取り業者 いづはら		休業 ←								→ 休業	
桜の苑					休業	休業					
江府町営バス				運休 ←			→ 運休				
日野交通(株)タクシー江府車庫											休業

※年末年始のごみ収集は、分別収集カレンダーをご覧ください。

※役場では、閉庁日でも戸籍に関する届出(死亡届、婚姻届など)を受領します。

今月の国民年金

納付期限 12月分 平成31年1月31日(木)まで

平成30年4月から平成31年3月までの国民年金保険料は月額16,340円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

- ・町県民税(4期)
 - ・国民健康保険税(7期)
 - ・介護保険料(7期)
 - ・後期高齢者医療保険料(6期)
- 納付期限及び口座振替は
12月25日(火)です。

町報こうふ11月号にて一部記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。【P6】日本通運株式会社米子支店 ⇒ 日本通運株式会社山陰支店

■まちの人口 2,937人(-8)
男 1,380人(±0)
女 1,557人(-8)
■世帯数 1,050世帯(-4)
11月末現在()は前月比

応援ありがとうございます!

ふるさと納税

平成30年
11月30日
現在
延申込件数 495件
(前月比+85件)
延寄付金額 6,410,000円
(前月比+118万円)

◎香典返しとして
米子市 中祖 憲次 母若子死去(西成)
大河原 長尾 保 父吉朗死去
新道 藤川 幸男 妻冷子死去

◎見舞い返しとして
日の詰 中尾 彰人 本人退院
宮市 長岡利恵子 夫邦一退院

ご寄付

社会福祉協議会に次の方から
ご寄付をいただきました。
(11月分) 敬称略

◎ごめい福を祈ります
(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)
白住団地 下原 晴子 102歳 本人
大河原 長尾 吉朗 89歳 保
西成 中祖 岩子 95歳 本人
新道 藤川 冷子 74歳 幸男

人の動き
11月届(敬称略)

12月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
 本5=本町5丁目集会所 せ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
17 墨彩画教室 防 午後1時30分～3時30分	18 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室(年間) 午後1時～3時 防 アイリス合唱団 防 午後7時～9時	19 大正琴教室 防 午後1時30分～4時 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時30分 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	20 明德学園開校日 手芸教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 陶芸教室 創 午後1時～3時 書道教室 防 午後1時30分～3時	21 フラダンス教室 防 午後2時～3時30分 2学期終業式 江府小学校	22 和紙折紙教室 防 午後1時30分～3時30分	23 ピアノレッスン 防 午前9時～午後2時30分
24	25 アイリス合唱団 防 午後7時～9時 2学期終業式 江府中学校	26 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時30分 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	27 【明德学園】 華道講座 防 午前中 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	28	29	30
31 大晦日	申込〆切 12月20日 (木) 服装・格好は自由です!個人でもチームでも、ぜひご参加ください 平成31年 第42回 新春マラソン大会 平成31年1月3日(木) 受付開始 午前9時、開会 午前9時30分 受付場所:江尾駅1階 スタート・ゴール:江尾駅前 申込・お問い合わせ:江府町体育協会事務局 (☎0859-75-2005) 飛び入り参加も 大歓迎!					

1月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
 本5=本町5丁目集会所 せ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	1 元旦	2	3 新春マラソン大会 開会:午前9時30分～ (駅前) 	4	5	6
7 3学期始業式 江府小学校 江府中学校	8 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室(年間) 午後1時～3時 防 アイリス合唱団 防 午後7時～9時	9 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時30分 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時 人権・行政相談 午前9時～正午 防災・情報センター	10 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	11 いけばな教室 防 午後7時～8時	12	13 成人式式典 開 午前11時～ ピアノレッスン 防 午前9時～午後2時30分

1月10日は「110番の日」 正しい110番通報をお願いします

110番は、みなさんが、事件・事故等に遭われたり、目撃した場合に警察官が一刻も早く現場に駆けつけるための「緊急専用電話」です。緊急性のない要望・相談などで110番回線が塞がってしまうと、一刻を争う事件や事故の対応が遅れることになります。警察に対する相談・要望等の緊急でないものは、

警察総合相談電話 #9110

または、各警察署、交番、駐在所へ連絡して下さい。

事件・事故は

110番

要望・相談は

#9110



セリフ一つに 思いを込めて
78人 心は一つ
～今年も江府はんばないって～



- ①合唱「あなたにありがとう」(5・6年) ②合奏「ひょっこりひょうたん島」(5・6年)
③劇「6ぴきのかわいいおおかみ」(1年) ④劇「どくがめ」(2年) ⑤劇「守れ!夢パワー」(3年)
⑥劇「ほんとうの宝ものは」(4年) ⑦劇「銀のまが玉」(5年) ⑧劇「雲の上の三武将」(6年)

今月のフェイス



南波 知香さん(池ノ内)

は、天気にも恵まれ、ライブなどのイベントも行い、たくさんの方にお越しいただきました。今後は江尾十七夜イメージキャラクター「えびちゃん」をもっと活かした企画を展開していきたいと計画しています。さらに、これまでのイベントもより充実したものにしながら、江府町へお越しになれる方が笑顔になっていただけるように、丁寧なご案内をしたいと思います。趣味は音楽鑑賞で、関西に住んでいた頃はよく歌手のライブに行っていました。最近では行けていないので機会をみつけて、また行きたいなと思います。

高校を卒業後、関西にて就職。その後、江府町へ戻り2年半前から江府町観光協会で勤務しています。祖母がこまわり号を利用していた際、江府町観光協会で職員を募集している話を聞いたのがきっかけでした。

11月上旬に行った銀杏並木LEDライトアップのイベント

COVER ー表紙の写真ー



11月26日、エミーズカフェにて江府小学校3年生の総合学習が行われました。「小さな農園奥大山」竹内敏朗代表から町内の小麦粉生産について教わり、福祉事業所の方とのふれあいを通して郷土への関心を高めました。試食体験では3種類のパンを食べ比べました。

